

『子どもは未来！甲賀に進風を！』

甲賀市議会議員

議会報告書

2024年 1月 発行

# ふくい すすむ 通信 第9号

〒520-3322 甲賀市甲南町深川 1 6 2 8 発行責任者 福井 進  
TEL 090-1890-9302 FAX 0748-86-7860 Mail ruijifukui@yahoo.co.jp



**あけまして おめでとうございます**

初心忘るべからず

『子どもは未来！甲賀に進風を！』

と覚悟を決め、教職を辞して甲賀市議会議員選挙に挑戦しました。

『あなたの声を聴かせてください！』

あなたの思いを市政につなげます！』

と決意を訴え、市議会議員の職を与えていただいて3年目を迎えることができました。みなさまから託された『使命』を果たすためにも初心を忘れず、精一杯に取り組んでまいります。

**本年も、よろしく願いいたします。**



## 多文化共生で明るい未来を！

今年春に、甲賀市に多文化共生センターが設置されます。

人口減少の中で増え続ける外国人の方々が、短期の「労働力」ではなく、家族と共に地域で暮らす市民として定住し続けていただくため、「いつもの暮らし」を支える、という目的で設置されます。

少子高齢化・人口減少が大きな問題となっている今日において、甲賀市で暮らす外国人市民の方々と共に、互いに認め合い・支え合う『多文化共生のまちづくり』は、持続可能な「明るい未来」につながる『素敵なおこと』です。

## 「こども学習会」 国際交流協会 主催

外国にルーツを持つこどもたちが、毎週土曜日に「まる一む」にやってきます。私もサポーターとして3年目になりました。

がんばるこどもたちから元気をもらうために、時間の許す限り参加しています。しかし、保護者に送迎してもらえなかったり、がんばる気持ちになれないこどもたちもたくさんいます。

春からは、学習の場が「多文化共生センター」に移ります。新たなつながりが広がることを楽しみにしています。



(こども学習会での学習の様子)

## 高校生の声で明るいまちづくり

議員として最初(2021年12月)の一般質問で「なおざりになっている高校生の通学路」をテーマに取り上げました。きっかけは、弁当屋さんが届けてくださった『高校生の声』。

実際、夜間に自転車に乗って確認すると、旧町の間をつなぐ道には防犯灯が少ないことに驚きました。私自身に「自転車の目線」がなかったことにも気づきました。



(明るくなった市道 2023.12)

昨年12月、市民の方から「JR沿い(甲南町森尻)の道、防犯灯が点灯してたで！」との連絡をいただきました。

かつては防犯灯が全くない約1.2kmの「真っ暗だった道」。その後、元々あった電柱に7基が設置されましたが、電柱のない半分(約600m)は真っ暗なままになっていました。今回、その区間に18本の支柱が立ち、そこに9基の防犯灯が設置され点灯したのです。

「高校生にアンケートをしてはどうか」という提案をし、その後市内の高校でアンケートが実施されました。高校生から声を聴いて設置されたことが何より『素敵なおこと』だと思います。

**こどもの声が市政につながる . . . こども真ん中社会！**

JR草津線 貴生川一甲南間…北側の市道です。草津線ご利用の際は、ご確認ください。

# 12月定例会…一般質問

12月11日

## 1、小中学校の特別教室にエアコンの設置を！

～ エアコン未設置の教室があるのは甲賀市だけ ～  
 一昨年の9月定例会で「エアコン設置」について取り上げました。甲賀市内の小中学校には、90以上の特別教室にエアコンが未設置となっていたからです。

【特別教室の設置状況】 (右の表)

**\*未設置…甲賀市(66,9%)・守山市(68,3%)**

**\*大津・近江八幡・野洲・高島・東近江市**

…授業で使用する教室は完備

注:「保有室数」は授業で使わない部屋を含んでいます。

滋賀県の小中学校空調設置状況  
 (文部科学省調査-2022年9月)

設置者名	特別教室			体育館等		
	保有室数	設置室数	設置率	保有室数	設置室数	設置率
滋賀県	5	5	100%	0	0	-
大津市	838	630	75.2%	54	0	0%
彦根市	336	336	100%	30	0	0%
長浜市	539	539	100%	47	0	0%
近江八幡市	239	210	87.9%	20	0	0%
草津市	247	247	100%	20	20	100%
守山市	183	125	68.3%	15	0	0%
栗東市	188	188	100%	16	0	0%
甲賀市	390	261	66.9%	28	0	0%
野洲市	172	146	84.9%	13	0	0%
湖南市	212	212	100%	16	13	81.3%
高島市	229	227	99.1%	23	0	0%
東近江市	404	396	98.0%	31	1	3.2%
米原市	176	176	100%	16	0	0%
日野町	64	64	100%	7	0	0%
竜王町	41	41	100%	3	0	0%
愛荘町	80	80	100%	7	0	0%
豊郷町	38	38	100%	3	0	0%
甲良町	46	46	100%	3	0	0%
多賀町	39	39	100%	3	0	0%
合計	4,486	4,006	89.7%	355	34	9.6%

その後、守山市は補正予算が生まれ、本年度の早期に「設置率100%」になりました。甲賀市は、13室(昨年度3室・本年度10室)に設置され、現在の設置室数が274教室(設置率70,3%)になりました。

「地球沸騰化」と言われた昨年夏、県内で空調のない教室で学習していたのは甲賀市だけになってしまいました。

9月議会で「夏に間に合わせるためには、今年度中に補正予算を組む必要!」と提案。引き続き、今回は現状を踏まえて再度質問をしました。

質問…「今後の設置計画」と「遅れた理由」について

(答弁)「補正予算で、空調設備の設計業務費(中学校17室)を計上、すでに長寿命化事業で進めている土山中学校を含め中学校の特別教室整備した後、小学校の整備を進めます。概ね3年間で授業を行う教室82室に設置する。」

「遅れた理由は、多くの学校で大規模改造工事が残っていたため…。」

未設置となっている中学校の特別教室(技術・家庭科室・理科室・美術室)の設計業務費が計上されました。今年の夏に間に合うよう、早期着工を要望しました。

また、小学校の特別教室も3年間で「前倒し」して取り組むように強く求めました。

## 2、小中学校の体育館にエアコンの設置を！

全国的に災害時の避難所となる「小中学校体育館への空調設備の設置」が進み、文部科学省も「体育館への空調設備」について調査を行っています。(上の表)

滋賀県では、草津市(100%)・湖南市(81%) 全県的では9.6%になっています。各教育委員会に確認したところ両市とも「移動式スポットクーラー」の設置で、草津市では各校に2台以上、湖南市では小学校に2台・中学校には3台が設置されていました。

昨年11月「草津市の全公立小中学校体育館にエアコン」の新聞記事(右図)。草津市教育委員会に確認したところ「2年間で全小中学校(20校)に設置したい。空調設備以上に断熱設備の費用が大きい。」とのことでした。

そこで、甲賀市の見解を伺いました。



(京都新聞 11月22日朝刊より)

質問…「学校体育館の空調設備設置」について

(答弁)「中学校では、夏休み中の部活動もあることからできるだけ早く整備を進めたい。補正予算で、空調設備の設計業務費(全中学校分)を計上する。」

体育館の空調設備には、断熱設備の整備が重要です。また、光熱費を確保する必要があります。

「地球沸騰化」に対応すると共に、「ゼロ・カーボン時代」の環境にも配慮した事業の推進を要望しました。また、遅れている特別教室への設置を最優先に進めるように、再度求めました。

### 3、<sup>じねんど よさんへんせい しみん めせん</sup>次年度の予算編成を「市民ファーストの目線で」

岩永市長の二期目最終年度となる「予算編成方針」が示されました。そこで、次の提案をしました。

- 1、「目標人口(2028年に人口87,000人)の達成に向けた施策構築」には、「外国人市民の定住」と「高齢者の健康寿命の延伸」が重要であること。
- 2、「部局長のリーダーシップとマネジメントによる予算編成」を実施するには、未来を担う職員を活かした「ボトムアップ」のマネジメントが重要であること。

今回の予算編成方針には、5つの基本方針と共に、「市民ファーストの目線で」という思いが掲げられています。そこで、教育長と市長に以下の質問をしました。

令和6年度予算編成方針について	
基本方針	
目標人口(令和10年(2028年)に人口87,000人)の達成に向けた施策構築	
市外に目を向け、滞在市民を棚卸し、目標人口の達成を目指す	
国・県補助金等の特定財源のさらなる確保	
部局横断的な視点による補助金の確保など新たな財源の確保を図る	
財政計画に基づく健全な財政運営の確立	
中長期財政計画を踏まえた持続可能な財政運営の確立を図る	
原油価格・物価高騰への対応	
原油価格・物価高騰対策は、社会経済情勢や各分野の価格転嫁の状況、国の動向を見極め適切に対応する	
部局長のリーダーシップとマネジメントによる予算編成	
市政の課題解決を進め、総合計画の実現を図るため、部局長のリーダーシップのもと、創意工夫による予算編成とする	



(2年以上使用できない小学校の遊具)

各学校にわたされる教育予算の枠内では「遊具補修・整備」が後回しになっています。「こどもの目線」を大切にした予算編成に取り組むための『教育予算の拡充』を求めました。

質問…次年度の予算編成に対する「市長の思い」について

(市長)「市民ファーストの目線で施策を構築するためには、職員が市民や地域の声にしっかりと耳を傾け、過度な公平性や一律一辺倒な考えにとらわれずに課題を認識して部局長のリーダーシップとマネジメントによる予算編成に努めるように指示をしている。私も市長就任時から時間の許す限り地域に出向き、市政に対する意見や日常の困り事に耳を傾けるよう努めてきた。これらを念頭に次年度の予算編成について精一杯取り組む。」

### 4、<sup>たぶんかきょうせいしやかい むとく</sup>多文化共生社会に向けた取り組みについて

多文化共生社会の実現に向けた多文化共生センターの役割と取り組みに関して質問をしました。

質問…多文化共生センターの3つ(相談・学習・交流)の機能について

- (答弁) 相談機能…これまで市では対応できなかった在留資格や社会保険、就労・教育など、あらゆる相談窓口として、休日相談にも対応を想定している。  
また、ヤングケアラーの解決として通訳派遣も進めたい。
- 学習機能…これまで毎週土曜日に開催されていた「こども学習会」に加えて、平日の放課後学習会を検討している。  
また、ゼロ初級者に特化した日本語教室をスタートさせたい。  
多様な学びとして再来年度に湖南省に開設する「夜間中学校」との連携に努める。
- 交流機能…多様な文化を背景に持つ市民の交流を促進し、永住・定住を含めた外国人市民と日本人市民の日常的な交流の場と機会を設けるとともに、地域社会を共に築く仲間として、顔の見える関係性を築いていく。

質問…多文化共生社会に向けた取り組みについて

(答弁) 甲賀市における外国人人口は、年々増加している。全ての市民が、安心して生活し続けるためには、理解し合い、支え合える関係を築くことが重要である。多様性が尊重され、お互いの人権や尊厳を大切にした共生社会の実現に努める。多文化共生センターは、外国人市民を定住につなげるための拠点として、予算の中で具体化していきたい。



\* 下記のサイトから議会での質問・答弁のようすが、インターネット録画でご覧いただけます。

<https://gikai.city.koka.lg.jp/schedule/index.html>

## しがらっきーず 障がい者ソフトボールチーム

昨年5月、見知らぬ番号から携帯に着信がありました。

電話の主は、障がい者ソフトボールチーム「しがらっきーず」のEースで10数年前に城山中学校の野球部員だった青年市民。当時、私が日枝中学校の野球部監督をしていたことで、この通信（第6号）を見て連絡をくださいました。

相談の内容は「チームの練習を見に来てください。…練習試合がしたい。」という事。5月に練習を見に行き、監督さんとお話をさせていただき、スタッフの一人に加わるようになりました。

チームは17歳から64歳までの10数名の選手と数名の指導スタッフ。練習は、日曜日の午後に岩上総合グラウンドをお借りして行っています。11月の「滋賀県障がい者スポーツ大会」に向けて、暑い夏にも私がノックをしたボールを真剣に追いかける選手たち・・・。

10月に行われた甲賀市民スタジアムでの試合は、実家の母の告別式と重なり参加できませんでした。チームに誘ってくれた選手から試合結果の報告とお悔やみの電話を頂きました。大会直前の11月5日には、約束していた練習試合も水口中学校野球部の協力で果たすことができました。



(水口中学校野球部との練習試合)

11月12日に「滋賀県障がい者ソフトボール大会」が国体の競技会場になる守山市民運動公園で開催されました。県内8チームが集まり、勝ち進んで決勝に進出。決勝では敗れましたが、価値ある「準優勝」。全員がバッターボックスに立てたこと、喜びと悔しさをみんなで味わえたことが何よりでした。

仕事や学校が休みの日曜日に集まって、しんどい練習を楽しんでいる選手たちと数十年に渡って選手を支えてこられた監督をはじめコーチの方々との最高の出会いになりました。

来月には、彼らとの2年目のシーズンが始まります。



(決勝を戦った両チームで記念撮影)

## 甲賀市民交流ポッチャ大会

～ わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025 ～

12月10日に「第1回甲賀市民交流ポッチャ大会」が開催されました。

甲賀市民体育館は、来年開催される障スポ「ポッチャ」の競技会場になります。本番に備えて多くの関係者が準備・運営をしてくださり、「甲賀市議会議員チーム」の一員として、はじめてのポッチャを体験しました。チームは、みなさんの活躍で予選リーグを3勝2敗、午後からの決勝トーナメントに進出。準優勝した大野自治振興会チームさんに敗れましたが、ポッチャの魅力にみせられて最後まで大会を観戦させていただきました。優勝は伴谷自治振興会チームさんでした。ご家族での参加もあり、あたたかい大会となりました。



(参加した市議会チーム)

ポッチャは、誰もが楽しめる奥の深い競技です。障スポの成功とともに、大会後に「ポッチャ」が甲賀市に根付きますように！

## 仲間と共に ～労福協・連合滋賀～

今年度も「働く仲間」と共に甲賀市に対して「政策・制度要求と提案」を作成して10月18日に提出し、11月24日には提案(11項目62案件)に対する回答を頂き、その場で副市長をはじめ執行部との「意見交換会」を行いました。



(提案書の提出)



(回答書の受取)

今後みなさんから託された思いを重ね合わせて、

「誰もが住みよいまちづくり」に精一杯取り組んで参ります。

…変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

ご意見・ご要望の問い合わせ先は、表紙等に記載しております。また、日常の活動等については、Facebookをご覧ください。



ホームページ



Facebook

**これからも、あなたの声を聴かせててください！**